

竹 中 大 工 道 具 館 NEWS

未 来 へ つ な ぐ 、 匠 の 技 と 心

Takenaka Carpentry Tools Museum News Letter

Vol. 27

2012 | Summer-Autumn



茶室構造模型（内部）

模型製作：（株）安井奎工務店

巡回展「数寄屋大工」の目玉展示。

大徳寺玉林院蓑庵をモデルに実物大の大きさを製作しました。

華奢に見える茶室も化粧材や壁を取り去ると様々な工夫が隠されていることがわかります。

公益財団法人に移行しました

当館は公益法人制度改革に基づき、2012年4月1日付けで公益財団法人に移行しました。これまで以上に、社会のため、多くの人々のために役に立つことが求められる立場です。大工道具の保存・展示に加えて、職人の技と心の記録、木の文化の理解促進、伝統のものづくり支援など、より幅広い社会貢献を進めて参ります。今年の企画展も、より幅広い層に関心をもっていただけるよう和の伝統美を育んできた数寄屋の世界に焦点をあてました。茶の湯の繊細な感覚を支える職人の技と美意識を紹介する前例のない展覧会です。ぜひご期待下さい。

CONTENTS

- EXHIBITION 巡回展「数寄屋大工
―美を創造する匠―」
- EVENT 「技と心」講演会
夏休み子ども体験教室
- EXHIBITION テーマ展示「明治の台鉋
―職人達の創意工夫―」
- SEMINAR 「技と心セミナー」のご案内

EXHIBITION

巡回展

Sukiya Carpenter: the Creator of Beauty

数寄屋大工

美を創造する匠

【東京会場】

会 期 2012年8月20日(月)～9月29日(土)
会 場 ギャラリーエークウッド
(竹中工務店東京本店 1F)

開館時間 10:00～18:00 (最終日は17:00 まで)
休 館 日 日曜日・祝日
入 場 料 無料

【神戸会場】

会 期 2012年10月6日(土)～11月18日(日)
会 場 竹中大工道具館

開館時間 9:30～16:30 (入場は16:00 まで)
休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入 館 料 一般300円／大・高生200円／小・中
生100円

【名古屋会場】

会 期 2012年11月23日(金)～12月28日(金)
会 場 産業技術記念館特別展示室

開館時間 9:30～17:00 (入場は16:30 まで)
休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌日)
入 場 料 無料(常設展は別途入館料が必要)

主催 〔各会場〕公益財団法人竹中大工道具館

共催 〔東京会場〕一般財団法人ギャラリーエークウッド
〔名古屋会場〕産業技術記念館、中日新聞社

後援 〔神戸会場〕神戸新聞社

協力 (株)大塚竹材店、(株)嵯峨藤本畳店、(株)千本銘木商会、
(株)松村泰山堂、(株)丸二、(株)水澤工務店、(株)安井
奎工務店、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、佐藤左
官工業所、(財)京都伝統建築技術協会、中村外二工務店、
原田銘木店、平田建設株式会社、(有)松文商店



近年「和」の建築デザインが注目を集めています。なかでも伝統の数寄屋建築は憧れの的ですが、敷居が高く難解という印象も強いのではないのでしょうか。本展覧会では数寄屋建築の様々な要素を解体して、職人達がどこにこだわり上質を追求しているのかを、数寄屋大工の視点を通して詳しく解説します。なお、本展覧会は東京、神戸、名古屋の3会場を巡回いたします。



和のデザインが凝縮された茶室「如庵」

第1章 茶室解体新書 ～数寄屋建築のつくり方～

繊細で華奢なつくりの数寄屋建築には一体どのような工夫が隠されているのでしょうか。本展覧会のために特別に製作した実物大の茶室構造模型(表紙)、あるいは各種の部分模型を通して、数寄屋大工の技を解説します。導入部には歴史を簡単に振り返る「数寄屋小史」コーナーを設けました。



茶室起し絵(江戸時代後期)



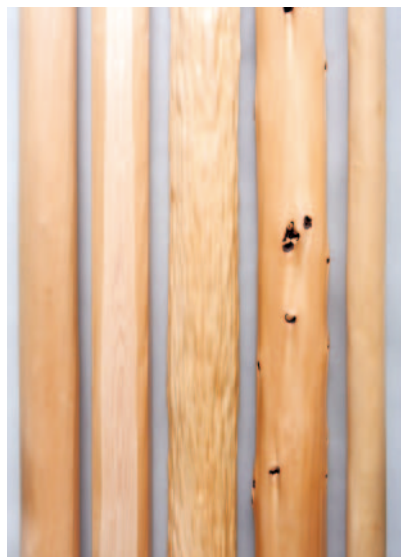
丸太仕口模型(捻組)

第2章 数寄のディテール ～繊細なるテクノロジー～

数寄屋の細部意匠には、選りすぐられた素材、それらを選別する棟梁の美意識、あるいは材料を丁寧かつ微細に加工する職人技など、和の匠の技と知恵が集約されています。ここでは銘木、建具、表具、畳などについて、その素材と製作技術を紹介します。



数寄屋の引手金具



北山丸太各種



襖製作工程模型

第3章 数寄屋大工列伝 ～名工が残したもの～

明治から昭和にかけて活躍した名工の作品・遺品を紹介します。取り上げるのは木村清兵衛、笛吹嘉一郎、北村捨次郎、北村伝兵衛、中村外二、平田雅哉、水澤文次郎など名だたる棟梁たちです。



中村外二の道具〔中村外二工務店蔵〕



笛吹嘉一郎制作の茶碗〔個人蔵〕



平田雅哉の自彫像〔個人蔵〕

シアターコーナーでは当館製作の映像作品「数寄屋大工」(23分)、「北山杉を育てる」(28分)を上映します。
各会場へのアクセスやイベント情報の詳細は「数寄屋大工」展公式サイト (<http://dougukan.jp/sukiya>) をご参照下さい。

「数寄屋大工」展記念イベント

イベントの日時・内容は変更になることがあります。最新情報はホームページでご確認ください。

東京会場

シンポジウム 「近代数寄屋を次世代へ ― 伝統の継承と革新を語る」	こども向けワークショップ 「起こし絵図をつくろう ― 立体図面に挑戦!」	実演 「数寄屋大工の技に迫る」	見学会 「三溪園にみる数寄屋の美」
講師 今里隆 (杉山隆建築設計事務所・建築家) 西村兎義 (水澤工務店・数寄屋大工棟梁) 志村誠治郎 (志村商店・銘木師)	講師 竹中大工道具館職員	実演 水澤工務店	日時 9月15日(土) 13:30~16:00
日時 9月7日(金) 18:00~20:00	日時 8月25日(土) 13:30~15:30	日時 9月1日(土) 13:30~15:00	見学先 三溪園 (臨春閣・聴秋閣・春草廬)
場所 竹中工務店東京本店2F ABホール	場所 竹中工務店東京本店 特設会場	場所 竹中工務店東京本店 特設会場 (入場料無料・申込不要)	定員 30名(事前申込制)
定員 先着200名(入場料無料・申込不要)	定員 20名(参加無料・事前申込制) 対象 小学4年生~中学3年生 申込締切 8月1日(水) 消印有効	内容 網代天井・下地窓編みなど	参加費 400円(入園料込) 申込締切 8月14日(火) 消印有効

神戸会場

この他に期間中、「技と心」講演会、セミナーにて数寄屋大工展に関連したイベントを開催します。
また、週末を中心に当館研究員による展示解説を予定しております。日程はホームページをご確認ください。

オープニングイベント(実演) 「数寄屋大工の技に迫る」	ワークショップ 「茶席土壁のつくり方 ― 塗付と墨付」	見学会 「北村美術館 四君子苑 ― 数寄屋の伝統と近代」	ワークショップ 「唐紙でハガキをつくろう」
実演 安井奎工務店	講師 佐藤ひろゆき (佐藤左官工業所・左官職人)	講師 今里隆 (杉山隆建築設計事務所・建築家) 北村美術館職員	講師 本城武男 (京からかみ摺り師)
日時 10月6日(土) 13:30~15:00	日時 10月8日(月・祝) 13:00~15:00	日時 10月27日(土) 13:30~15:00	日時 11月10日(土) 10:00~12:00、13:30~ 15:30の間、適宜開催
場所 竹中大工道具館別館前 特設会場 (参加無料・申込不要)	場所 竹中大工道具館別館前 特設会場	見学先 北村美術館 四君子苑	場所 竹中大工道具館B1F 特設会場 (参加無料・申込不要)
内容 丸太の墨付・加工など ※ 荒天中止	定員 12名(参加無料・事前申込制) 申込締切 9月10日(月) 消印有効 ※ 荒天中止	定員 30名(事前申込制) 参加費 2,000円(美術館入館料込) 申込締切 9月28日(金) 消印有効	

名古屋会場

週末を中心に当館研究員による展示解説を予定しております。日程はホームページをご確認ください。

オープニングイベント(実演) 「数寄屋大工の技に迫る」	見学会 「如庵と暫遊荘」	記念講演会 「尾張の茶と数寄屋普請」	子ども向けワークショップ 「起こし絵図をつくろう ― 立体図面に挑戦!」
実演 安井奎工務店	講師 中村昌生 (京都工芸繊維 大学名誉教授)	講師 中村昌生 (京都工芸繊維大学 名誉教授)	講師 竹中大工道具館職員
日時 11月23日(金・祝) 13:30~15:00	日時 12月8日(土) 12:45~17:00	日時 12月9日(日) 13:30~15:00	日時 12月15日(土) 13:30~15:30
場所 産業技術記念館 巡回展特設会場 (参加無料・申込不要)	見学先 有楽苑(如庵)、暫遊荘	場所 産業技術記念館	場所 産業技術記念館 巡回展特設会場
内容 丸太の墨付・加工など	定員 30名(事前申込制) 参加費 3,000円 (バス代・見学科・呈茶料込) 申込締切 11月9日(金) 消印有効	大ホール 定員 先着200名 (入場料無料・申込不要)	定員 20名(参加無料・事前申込制) 対象 小学4年生~中学3年生 申込締切 11月16日(金) 消印有効

ワークショップ 「唐紙でハガキをつくろう」	実演 「茶席の土壁のつくり方」	ワークショップ 「茶席土壁のつくり方 ― 塗付と墨付」
講師 本城武男 (京からかみ摺り師)	講師 佐藤ひろゆき (佐藤左官工業所・左官職人)	講師 佐藤ひろゆき (佐藤左官工業所・左官職人)
日時 12月2日(日) 10:00~12:00、13:30~15:30 の間、適宜開催	日時 11月24日(土)、12月1日(土) 12月8日(土)、12月22日(土) 各日とも10:00~12:00	日時 ①11月24日(土) 13:00~15:00 ②12月8日(土) 13:00~15:00
場所 産業技術記念館 巡回展特設会場 (参加無料・申込不要)	場所 産業技術記念館 巡回展特設会場 (参加無料・申込不要)	場所 産業技術記念館 巡回展特設会場
		定員 各回12名(参加無料・事前申込制) 申込締切 10月26日(金) 消印有効 ※ハガキにて申込の際は希望日をご記入ください。

記念イベント申込方法

<ホームページ>

数寄屋大工展公式サイト
(<http://dougukan.jp/sukiya>)内
イベントページよりお申し込みください。

<往復ハガキ>

[往信用裏面] イベント名、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、性別、生年月日をご記入ください。
(名古屋会場見学会については所属先も明記してください。)

[返信用表面] 宛先にご自身の氏名、郵便番号、住所をご記入ください。
※裏面は参加可否等の連絡を印刷しますので、記入しないでください。

[お申込み先] 〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25 竹中大工道具館「数寄屋大工展記念イベント」係

※見学会はハガキまたはメール1通につき1名様での申し込みとさせていただきます。 ※ワークショップはハガキ1枚につき2名様までお申し込みいただけます。参加者全員のお名前を往信用裏面にご記入ください。(返信用のあて先は代表者のみ) ※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。 ※ご参加の可否や当日の集合場所などの詳細は締切日以降にご連絡いたします。 ※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、数寄屋大工展記念イベント以外の目的には使用いたしません。

EVENT

「技と心」講演会

数寄の匠 技を語る

日本人の繊細な美意識が詰め込まれた数寄屋建築。それを実現する職人たちもまた独特の知恵と技を備えています。今年の講演会は「数寄屋大工」展の開催を記念して、中村昌生先生を司会に本場・京都の大工、左官、銘木師の第一人者をお迎えして、守り継がれてきた伝統の美意識と技について語っていただきます。

日時 10月21日(日) 14:00～16:30
場所 ラッセホール大会場 ※最終ページの地図をご参照下さい
司会 中村昌生(京都工芸繊維大学名誉教授)
語り手 齋藤光義(安井空工務店・数寄屋大工棟梁)、佐藤嘉一郎(佐藤左官工業所・左官職人)、中川典子(千本銘木商会・銘木師)
映像上映 「数寄屋大工」(当館製作・23分)
入場料 無料
定員 先着250名(入場無料・申込不要)



【中村昌生氏プロフィール】
1927年生まれ。京都工芸繊維大学名誉教授。長年にわたり、茶室や数寄屋建築の研究・創作を続ける。また(財)京都伝統建築技術協会の設立に携わり、理事長を務める。著書に『茶の建築』、『京の町家』、『茶匠と建築』、『数寄屋古典集成』等がある。



丸太に墨を打つ齋藤光義棟梁

夏休み 子ども体験教室

大工の技を見学し、大工道具を使って工作をしてみましょう。



日時	2012年7月28日(土) 13:30～16:00
参加費	無料(保護者のみ要入館料)
工作内容	ツールボックス
場所	竹中大工道具館 B1F多目的ホール
参加対象	小学4年生～中学3年生 (小学生の方は必ず保護者をご同伴ください)
人数	15名 定員を超えた場合は抽選となります。 (参加通知は締切日以降にお送りいたします)
応募締切	2012年7月14日(土) 消印有効
応募方法	当館ホームページ(http://dougukan.jp)「体験教室」のページまたは往復はがきに下記事項をご記入の上お申し込みください。 ※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、夏休み子ども体験教室以外の目的には使用いたしません。

【往信用裏面】
お子様の氏名(フリガナ)、お子様の年齢(生年月日)、郵便番号、住所、電話番号

【返信用表面】
宛先にお子様の氏名、郵便番号、住所をご記入ください。
※裏面は参加証を印刷しますので、無記入のこと。

【お申し込み先】
〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25
竹中大工道具館 「夏休み子ども体験教室」係

EXHIBITION

テーマ展示

明治の台鉋 —職人達の創意工夫—

期間 2012年7月3日(火)～9月30日(日)
場所 竹中大工道具館 1Fテーマ展示コーナー
協力 たばこと塩の博物館、長崎大学附属図書館

激動の明治時代、職人達は西洋の文化や技術に刺激を受け、それまでの道具に工夫を凝らして新しい手道具を次々に開発しました。明治時代はまさに職人達の創意工夫の時代といえるでしょう。本展示では、明治時代に登場したといわれる二枚鉋、西洋のネジを鉋の台に应用した機械決り鉋など約15点の資料を中心に、明治の職人達の試行錯誤を探ります。最近の研究で明らかになった「煙草庖丁を再利用した二枚鉋」も見どころのひとつです。



明治期の大工

写真提供：長崎大学附属図書館

「技と心セミナー」のご案内

大工道具と建築技術の専門家ならびに当館スタッフが最新の研究成果や知見をご紹介しますセミナーのご案内です。

参加費 無料（入館料は別途必要）
開催時間 13:30～15:00（13:00開場）
会場 竹中大工道具館
※セミナー [56] のみひょうご共済会館（予定）

セミナー参加申込み方法

ホームページから申込み

当館HP (<http://dougukan.jp>) セミナーページの申込みフォームをご利用下さい。

- ▶ ホームページからはご本人様ならびに同伴者1名に限らせていただきます。
- ▶ 携帯メールアドレスはご使用になれません。

往復ハガキで申込み

[往信]

- ① セミナー番号 ② お名前（フリガナ）※参加者全員
- ③ 郵便番号・住所 ④ 電話番号

[返信]

あて先にご自身（代表者）の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。裏面は未記入のこと。往復ハガキ1枚につき、4名までお申込みいただけます。

- ▶ 応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- ▶ 入場案内ハガキ・メールは締切日以降に発送いたします。
- ▶ 締切日以降は電話にてお問い合わせください。

[お申込み先]

〒650-0004
神戸市中央区中山手通 4-18-25
竹中大工道具館「技と心」セミナー係

[55] 2012年9月22日（土・祝）（締切り2012年9月7日）

刃痕から見た建築生産技術 ー飛鳥時代から鎌倉時代を中心にー

講師：植村 昌子（当館研究員）

古建築の部材に残された大工道具の刃痕は、昔どんな道具がどのように使われていたかを知るための重要な手掛かりとなります。今回のセミナーでは、打割製材時代の刃痕について豊富な資料の分析から明らかになったことを報告し、さらに当時の製材加工技術が木造建築のかたちや建築工事に与えた影響について、刃痕の面から探ってみます。

[56] 2012年11月3日（土・祝）（締切り2012年10月19日）

茶室に学ぶ ー日本建築の粋ー

講師：日向 進（京都美術工芸大学教授）

「異風になく、けっこう（結構）になく、さすがてぎハ（手際）よく、目にたたぬ」のが数寄屋造りの本質です。軽快で瀟洒なたたずまいを造形の基調とする数寄屋造りの普請は、自然の材料である丸太や竹を使うことが特色です。その技術は数寄屋、茶室の普請において錬磨され、木造建築技術の粋といわれるまでに成熟してきました。それらを茶室の床の間や窓の意匠を中心に解説します。

[57] 2013年1月19日（土）（締切り2012年12月31日）

お茶席の壁のつくり方（仮）

講師：西山 マルセーロ（当館主任研究員）

茶席の土壁は、一般的な土壁よりも薄く、手間も数倍かかるといわれています。またまっすぐにも仕上がっていません。曲がった柱もよく使われます。柱や下地窓のおさめ方を見ると、細心の心遣いに触れることができます。大工が丹精こめて選んだ柱材。これを如何に美しく魅せられるかが左官に課せられた使命なのです。

ACCESS 来館のご案内

開館時間 9:30～16:30（入場は16:00まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始（12月26日～1月7日）

入館料

	個人	団体
一般	300円	250円
大・高生	200円	150円
小・中生	100円	50円
障がい者手帳をお持ちの方 及び付添者1名	無料	
65歳以上の方	100円	

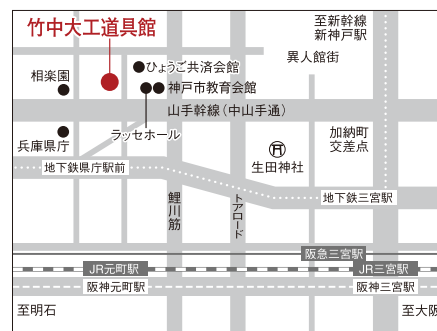
※団体は20名以上 ※その他各種割引あり

交通案内

- ▶ JR・阪急・阪神「三宮駅」徒歩18分
 - ▶ JR・阪神「元町駅」徒歩10分
 - ▶ 地下鉄「県庁前駅」徒歩5分
 - ▶ 新幹線「新神戸駅」タクシー10分
- 駐車場4台（普通車）あります。

連絡先

〒650-0004
神戸市中央区中山手通 4-18-25
TEL 078-242-0216
FAX 078-241-4713
URL <http://dougukan.jp>



※企画展・イベントなどの日程は変更になることがあります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。※本誌のお届け先の変更・追加および送付停止については電話・FAX・メールにてお知らせ下さい
本誌の無断転写・転載・複製は禁じます。©2012 Takenaka Carpentry Tools Museum

竹中大工道具館NEWS第27号

2012年7月1日発行
編集・発行：公益財団法人竹中大工道具館
印刷：神戸新聞総合印刷

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM

